

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)		
ナンバリングコード	E21202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002580	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、履修条件	商品企画の現場では、自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動するようにしてください。また、授業内で分析を行ったりまとめ作業などを行いますのでPCを準備しておいてください。チームで活動しますので、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り丸となってプロジェクトを楽しみながら進め、学生らしい企画を行うこと。他人と協調できない方は適しません。		
教科書	著者:神田範明 書籍名『神田教授の商品企画ゼミナール』 出版社:日科技連出版 発行年:2013 価格:¥3,240		
参考文献及び指定図書	著者:神田範明, 小久保雄介 書籍名『失敗しない商品企画教えます:リアル事例で学ぶ最強ツールP7の使い方』 出版社:日科技連出版社 発行年:2019 価格:¥3,240		
関連科目	マーケティング論、統計学、社会調査法		

○基本情報	
授業の目的	地域課題を解決するための問題解決手法を学習します。 様々な企業で使われた商品企画七つ道具を学習しながらチームで実践を行い、地域を活性化するための企画を行っていただきます。(後期は定量調査を行う) 活動の中で、プレゼン作成能力、データ分析、チームワーク、アイデア発想能力などを身に付けていきます。
授業の概要	授業は主に講義パートと実践パートの2つになります。 講義パートは主に学生が予習を行い、作成した資料をもとに説明をしてもらいます、その後発表を受けての議論を行います。 実践パートは講義パートをもとに、チームで実習を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	
実務経験のある教員による授業科目	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	商品企画についての興味、関心を持ち、積極的に授業に参加する。また、チームでの活動がしっかりできる。		20点	
【知識・理解】	商品企画についての知識が身についている。	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	チームでプレゼンテーションを作成し、発表することができる。その際にデータなどで論理的なプレゼンを行うことができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	様々な手法を用いて感動的な商品アイデアを作ることができる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
評価に用いるものは以下のものになります。 ①コメントペーパー…毎週の授業で提出してもらいます。感想、不明点、教員からの指示などを記入してもらいます。 ②学期末のプレゼン…チームで半期間の成果を提出してもらいます。また、作成中の活動状況も加味します。 ③試験…半期の内容を確認するために簡単な試験を行う。

○その他

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 小久保 雄介	授業コード	E002580
学修内容				
1. オリエンテーション 前期の復習 後期のゼミナール内容と前期の復習を行う。後期の内容の概略として事例紹介を行う。				
予習	前期の内容の復習を行う。			約1時間
復習	後期のプレゼンの方針を考える。			約1時間
2. (講義パート)アンケート調査の方法、調査票の設計 アンケート調査の作成、実施についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、各自で好きなテーマのアンケートを作成する。				
予習	教科書の6章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			約1時間
復習	各自で好きなテーマのアンケートを作成する。			約3時間
3. (実習パート)調査票の設計 前週の授業で作成したアンケートに対してのフィードバックを行った後に各チームでテーマのアンケートを作成する。				
予習	アンケートの一般設問項目を考える。			約2時間
復習	自分たちのテーマのアンケートを完成させる。			約3時間
4. (講義パート)PCによる集計・分析と解釈 スネークプロット、CSポートフォリオについての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。各自の実習として好きなテーマのアンケートを作成する。				
予習	教科書の6章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			約1時間
復習	自身のチームのアンケートを回収する。			約3時間
5. (実習パート)PCによる集計・分析と解釈 サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	前週の授業内容を復習する。			約1時間
復習	自身のチームの結果をもとに分析を行う。			約2時間
6. (講義パート)ポジショニング分析 ポジショニング分析についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。				
予習	教科書の7章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			約1時間
復習	前週までの内容をプレゼン資料にまとめる。			約3時間
7. (実習パート)ポジショニング分析 PCによる集計・分析と解釈 サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	前週の授業内容を復習する。			約1時間
復習	自身のチームの分析結果をもとに解釈を行う。			約2時間
8. (講義パート)層別分析の方法と応用 アンケートデータの分析の応用編で層別分析について学習する。わかりやすい層別からクラスター分析を用いた層別までを解説する。				
予習	自身のチームのデータに層別データを付与する。			約2時間
復習	層別分析を実際に行い解釈を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 小久保 雄介	授業コード	E002580
学修内容				
9. (講義パート)コンジョイント分析 直交表による計画 コンジョイント分析における属性・水準の作成、実施についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。各自の実習として直交表の使い方についての実習を行う。				
予習	教科書の8章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			約1時間
復習	自身のチームの属性・水準を考える。			約2時間
10. (実習パート)コンジョイント分析アンケートの作成 各チームで属性・水準を考え、直交表に割り付けた後にサンプルを作成しアンケートを作成する。				
予習	前週の授業内容を復習する。			約1時間
復習	コンジョイント分析アンケートを作成・実施を行う。			約3時間
11. (講義パート)コンジョイント分析 結果の解釈 (実習パート)コンジョイント分析 PCによる集計・分析と解釈 コンジョイント分析の分析についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	教科書の8章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			約1時間
復習	自身のチームの分析結果をもとに解釈を行う。			約3時間
12. (講義パート)コンジョイント分析 層別分析の方法と応用、品質表 コンジョイント分析の応用編として層別分析の事例を紹介する。更に品質表についての講義を行う。				
予習	教科書の9章を読む。			約1時間
復習	可能であれば層別コンジョイント分析を行う。商品の最終コンセプトを確定させる。			約3時間
13. 総合事例紹介、(実習パート)プレゼン作成 1年間学習してきた内容をつなげることによってどのような商品が作られたかの事例を紹介する。その後各チームで1年間の学習内容のまとめのプレゼンテーションの作成を行う。				
予習	教科書の10章を読む。			約2時間
復習	発表のプレゼンを作成する。			約3時間
14. プレゼンテーション 各チームごとに1年間のまとめとしてのプレゼンテーションを行う。				
予習	発表のプレゼンの練習をする。			約3時間
復習	他班のプレゼンのフィードバックを行う。			約1時間
15. プレゼンテーション、1年間のまとめ 各チームごとに1年間のまとめとしてのプレゼンテーションを行う。また、半期の学習の確認の為に簡単な試験を行う。				
予習	1年間の学習を振り返る			約2時間
復習	他班のプレゼンのフィードバックを行う。			約1時間
16.				
予習				
復習				